

# 用言の活用語尾の表

動詞	例	未然 1	未然 2	意志推量	連用	連用音便	終止	連体	仮定形	命令 1	命令 2
カ行五段	書く	書かない	書かず	書こう	書き	書いて	書く	書く	書けば	書け	
カ行五段*	行く	行かない	行かず	行こう	行き	行って	行く	行く	行けば	行け	
ガ行五段	泳ぐ	泳がない	泳がず	泳ごう	泳ぎ	泳いで	泳ぐ	泳ぐ	泳げば	泳げ	
サ行五段	押す	押さない	押さず	押そう	押し	押して	押す	押す	押せば	押せ	
タ行五段	立つ	立たない	立たず	立とう	立ち	立って	立つ	立つ	立てば	立て	
ナ行五段	死ぬ	死なない	死なず	死のう	死に	死んで	死ぬ	死ぬ	死ねば	死ね	
バ行五段	遊ぶ	遊ばない	遊ばず	遊ぼう	遊び	遊んで	遊ぶ	遊ぶ	遊べば	遊べ	
マ行五段	飲む	飲まない	飲まず	飲もう	飲み	飲んで	飲む	飲む	飲めば	飲め	
ラ行五段	走る	走らない	走らず	走ろう	走り	走って	走る	走る	走れば	走れ	
ラ行五段*	下さる	下さらない	下さらず	下さろう	下さい	下さって	下さる	下さる	下されば	下さい	
ワ行五段	買う	買わない	買わず	買おう	買い	買って	買う	買う	買えば	買え	
ワ行五段*	問う	問わない	問わず	問おう	問い	問うて	問う	問う	問えば	問え	
一段	見る	見ない	見ず	見よう	見	見て	見る	見る	見れば	見ろ	見よ 注2
カ変	来る	こない	こず	こよう	き	きて	くる	くる	くれば	こい	
サ変	勉強する	しない	せず	しよう	し	して	する	する	すれば	しろ	せよ
サ変	察する	察しない	察せず	察しよう	察し	察して	察する	察する	察すれば	察しろ	察せよ
ザ変	信ずる	信じない	信ぜず	信じよう	信じ	信じて	信ずる	信ずる	信ずれば	信じろ	信ぜよ
助動詞											
意思 注1	させる	させない	させず	させよう	させ	させて	させる	させる	させれば	させろ	させよ 注2
	せる	せない	せず	せよう	せ	せて	せる	せる	せれば	せろ	せよ 注2
無意志 注1	られる	られない	られず	られよう	られ	られて	られる	られる	られれば	られろ	られよ 注2
	れる	れない	れず	れよう	れ	れて	れる	れる	れば	れろ	れよ 注2
断定	だ	でない		だろう	に	で	だ	な	ならば		
丁寧	ます	ません		ましょう		まして	ます	ます	ますれば	ませ	
丁寧	です			でしょう		ですて	です	です			
完了	た			たろう	たり	て	た	た	たらば		
打消し	ぬ	ぬ	ず				ぬ(ん)	ぬ(ん)	ねば		
打消し	まい						まい	まい			
意志推量	よう(う)						よう	よう			
形容詞											
形容詞	赤い	赤くない	赤からず	赤かろう	赤く	赤くて	赤い	赤い	赤ければ		
							赤し	赤き			
形容動詞											
形容動詞	元気	元気でない		元気だろう	元気に	元気で	元気だ	元気な	元気ならば		
拡張形容動詞 相部屋											
	相部屋でない		相部屋だろう	相部屋に	相部屋で	相部屋だ	相部屋の	相部屋ならば			
(名詞)	机	机でない		机だろう	机に	机で	机だ	机の	机ならば		

## カラムの説明

\*印

例外的な活用形で少数の用語にしかつきません。

サ変のうち、語幹の最後が「ん」「い」「う」のときに濁音化してザ変になります。

注1

注2の印がある行の未然形に続くときの形。ない行のときは下の行の短い形が続きます。

意志推量

意志動詞のときは意志になり、無意志動詞もときは推量になります。

連用音便 て形

「て」の他に完了の助動詞の活用形「た」「たら」「たり」も付きます。

「て」の後ろに補助動詞が続きます。

完了の助動詞

ガ行五段、ナ行五段、バ行五段、マ行五段のときに濁音になります。

連体形

断定の助動詞、形容動詞、名詞の時以外は終止形と同じ型をしています。

命令形

命令形は意志動詞のときだけ機能します。